

平成19年度「立ち上がる農山漁村～新たな力～」選定団体概要書

団体の種類：【企業】

1. 都道府県、市町村 茨城県下妻市

2. 事業者名 株式会社ふれあい下妻

3. 取組概要等

支援・協力を行っている団体名及び活動の名称

団体名：下妻食と農を考える女性の会（ウィマム）（事例No.17）

活動名：「女性の力」 - 女性の知恵や力を活かした取組み

支援・協力を行うこととなった経緯

平成10年に「道の駅しもつま」「ピアスパークしもつま」が建設されたのを機に、市と地域の関係者の共同出資による第3セクターとして株式会社ふれあい下妻が設立。両施設の管理・運営を行っている。株式会社ふれあい下妻では、地元人材の活用と地域農産物を使用した特産品づくりを通じた地域の活性化に向け、加工品製造技術を持った複数の女性活動グループの力を活用するために、施設開館以来、地場産品の加工製造施設を提供している。

協力している活動（下妻食と農を考える女性の会）の概要

「食」に関する生活改善をテーマに自生活動していた「生活改善グループ」や「赤のっぽの会下妻支部」「JA婦人グループ」の3団体と梨農家、養豚農家など地元下妻の女性グループが地場ものの加工により付加価値をつけ、女性就労の場を作ろうと平成10年に「下妻食と農を考える女性の会」を発足。

梨加工グループ、漬物加工グループ、味噌加工グループ、食肉加工グループ、新食材部の5つの部門に分かれて各部門でそれぞれが出資金を出して活動を行い、独立採算で運営している。

「道の駅しもつま」「ピアスパーク下妻」での販売や学校給食への食材提供のほか、ソーセージづくり体験、クッキーづくり体験などの各種体験教室も開催しており、地域住民のみならず都市住民との活発な交流活動も行っている。

協力のポイント

- ・各種加工品製造のための施設を食と農を考える女性の会の活動拠点として提供することにより、それまで個々のグループで主に自家用に作られていた地域産物を使った加工品の製造販売の取組が本格化した。
- ・管理運営を受託している施設内で、食と農を考える女性の会が製造するウインナー、ハム、ベーコン、梨ジャム、アイスクリーム、米粉パン・米粉ピザなどの販売を行い、地場産品を使った特産品の知名度向上に貢献。
- ・女性グループ単独では難しいイベントの企画や、宣伝により、食と農を考える女性の会の商品が認知される機会を増やすとともに、食と農を考える女性の会のメンバーがインストラクターとなって開催する体験教室の参加者募集・会場の提供などの支援により、会の活動の拡大のみならず、都市農村交流の拡大に大きく貢献している。

